

外国につながる人の母語・継承語スピーチ原稿作成のてびき

みなさんの母語・継承語と日本語でスピーチを作成しましょう。二つのことばは、どちらの原稿を先に書いてもいいと思いますが、発表する母語・継承語に日本語を合わせるのがいいでしょう。二つのことばは、完全に対訳にする必要はありません。母語・継承語として自然な表現、日本語として自然な表現を心がけましょう。日本語にうまく訳せない時は、直訳でもかまいません。

たとえば、こんな順番で考えてみるのはいかがでしょうか。

手順1 テーマを決める

まず、スピーチの中心になるテーマを決めましょう。

みんなの前で言いたいこと、話したいことがありますか。それは、なぜ話したいのでしょうか。

そのことは、あなたにとって、どのように大切なのでしょう。全部書き出してみて、テーマを選ぶことをおすすめします。

テーマの例としては、こんなものがあります。参考にしてみてください。

テーマの例：

「私の国の文化と日本文化」「私の家族と日本」「人生最高の一日」「後輩のみなさんへ」
「私が学んだこと」「私の夢」「私の友だち」「私の学校」「私が好きなこと」

大きなテーマを選んでおいて、最後にタイトルを決めましょう。

手順2 自分の心を動かした話を準備する

みんなの前で話そうとするテーマについて、どんなことがありましたか。自分が経験した話、家族や友達、先生から聞いた話の中で、印象に残っている、自分の心を強く動かした話などを思い出してみてください。話は一つでもいいですが、二つ以上で説得力がアップすることもあります。

手順3 スピーチ原稿本文の下書きを書きましょう。

タイトル	名前	← ④全部書き終えてから、タイトルをもう一度見直しましょう。内容と合っていますか。
あいさつ、質問など		
話 1		← ②自分のいいたいことに関連した質問でスピーチを始めましょう。
話 2		
まとめ、自分の主張		
聞き手へのメッセージ		← ③最後に、聞いてくれた人へのメッセージを。

①まずは、経験したこと、聞いた話と、そこから自分がどんなことを考え、何をいいたいのか書きましょう。話は1つでも、2つ以上でもいいです。

順4 Wordソフトで、パソコン入力する。

日本語と母語・継承語が、できるだけ対訳になるようにしてください。
以下の順に入力をお願いします。

① (母語・継承語タイトル・中央揃え)	②母語・継承語表記の名前 (右寄せ)
③母語・継承語本文	

④ (タイトル日本語訳・中央揃え)	⑤日本語表記の名前 (右寄せ)
⑥日本語訳	

採点基準

当日の採点基準は以下の通りです。高得点がとれるように準備してください。

審査基準

	たいへん よくできました 4	よくできました 3	がんばりましたね 2	もう少し がんばりましょう 1
題 (タイトル) 4	題のつけ方、始まり方がすばらしく、聞き手を引きつける。	題のつけ方、始まり方が聞き手を引きつける要素を持っている。	題のつけ方、始まり方に問題はな	題のつけ方、始まり方に問題がある。
内容・構成 4	大変興味深い話を十分に紹介して、納得のできる結論を下している。	紹介している話が、結論と主張に無理なく結びついている。	紹介している話は推測などで補って何とか結論と主張に結びつく。	紹介している話から、話された結論、主張を導くのは多少無理がある。
声の大きさ・ 声の出し方 4x2	十分な声量の声で話している。声に落ちつきがあり、話し方によって、強調するところや話者の感情などうまく表現できていた。	十分な声量の声で話している。強調したいところ、話者の感情が理解できる。	十分な声量で話しているが、声が小さい時もあった。強調したいところ、話者の感情が今一つわかりにくい。	全体的に声が小さく感じられた。一本調子で、感情が感じられない。
発音・ 聞きやすさ 4x2	はっきりしたきれいな発音で、聞き手にわかりやすいよう気をつけて話している。聞きやすい早さ、話し方で、不自然な間やつまづきがほとんどない。	きれいな発音だが、注意が足りなくて、不明瞭な発音の時があった。つまづいてしまったことはあったが、聞きやすい早さで話そうとしていることが伝わる。	ときどき発音がはっきりしない時はあったが、きれいに話そうと努力していることがわかや目立つ。	発音がはっきりしない時が目立つ。長いポーズやつまづきが多く、聞きやすい早さで話すことはできなかった。
話し方・態度 4x2	自信たっぷりの、堂々とした態度で話している。聞き手へのアイコンタクトがあり、一人一人に語りかけるように話している。	自信を持って話していることが伝わってくる。聞き手へのアイコンタクトがある。	自信がなさそうに見える時もあるが、堂々とした態度を維持できた。アイコンタクトは少し足りないが、努力していた。	下を向いて話していることが多い。前を向いても、聞き手を見ている様子がなく、聞き手は話しかけられていない印象を持つ。